

エコアクション21 環境経営レポート

令和5年度

令和 5年10月～令和 6年 9月

令和6年12月6日 発行



株式会社 大東建興

目次

1. 会社・事業の概要	-----	1～2
2. 実施体制	-----	3～4
3. 環境経営方針	-----	5
4. 環境経営目標	-----	6
5. 環境経営目標の取組み結果	-----	7～10
6. 環境経営計画	-----	11～12
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無	-----	13
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	-----	14～16
9. 地域の環境活動	-----	17

1. 会社・事業の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

本社 株式会社 大東建興
代表取締役 堀 敏明
支店 株式会社 大東建興国分寺支店
支店長 小原 博

(2) 所在地

本社 〒187-0031
東京都小平市小川東町五丁目19番20号
TEL : 042-343-4651 FAX : 042-345-5501
支店 〒185-0012 (常駐なし)
東京都国分寺市本町二丁目23番6-410号
TEL : 042-321-4319

(3) 資本金 5千万円

(4) 設立年月 昭和38年 4月

(5) 環境保全管理責任者及び連絡先

責任者 取締役常務 小原 博
連絡先 TEL : 042-343-4651 FAX : 042-345-5501

(6) 事業の内容

1) 廃棄物運搬業

- ① 小平市一般廃棄物収集運搬業
- ② 国分寺市資源物及び有害物収集運搬業
- ③ 産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を含む）
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラス・コンクリート・
陶磁器くず、廃油
（石綿含有産業廃棄物含む）
- ④ 特別管理産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を除く）
廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）、特定有害産業廃棄物（廃石綿等）

2) 建設業

一般土木工事、水道施設工事、下水道施設工事、道路舗装工事、
給排水衛生工事

(7) 許認可、届出状況

1)

許可の種類	許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限
一般廃棄物収集運搬業	小平市	許可一廃第2号	R6. 4. 1	R8. 3.31
産業廃棄物収集運搬業	東京都	第13-10-040693号	R3. 7.26	R8. 7.25
特別管理産業廃棄物収集運搬業	東京都	第13-57-040693号	R3. 7.26	R8. 7.25

許可の種類	許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限
特定建設業	東京都	特-1第20149号	R6. 5. 8	R11. 5. 7
一般建設業	東京都	般-1第20149号	R6. 5. 8	R11. 5. 7

(8) 事業の規模

全社員数 38名 (役員含む)

敷地面積 本社敷地面積993.5㎡ 施設全体面積1500㎡

延床面積 本社建物 219㎡ 倉庫・控室建物 191.5㎡

積替保管施設 積替保管施設面積55.3㎡ 最大保管量23.62㎡ 最大保管高さ1.7m

保有車両 塵芥車13台、キャブオーバ車(平ボディ)7台、
軽車両4台

総売上高 売上高区分A：5億円未満

産業廃棄物収集運搬量 166.5㎡

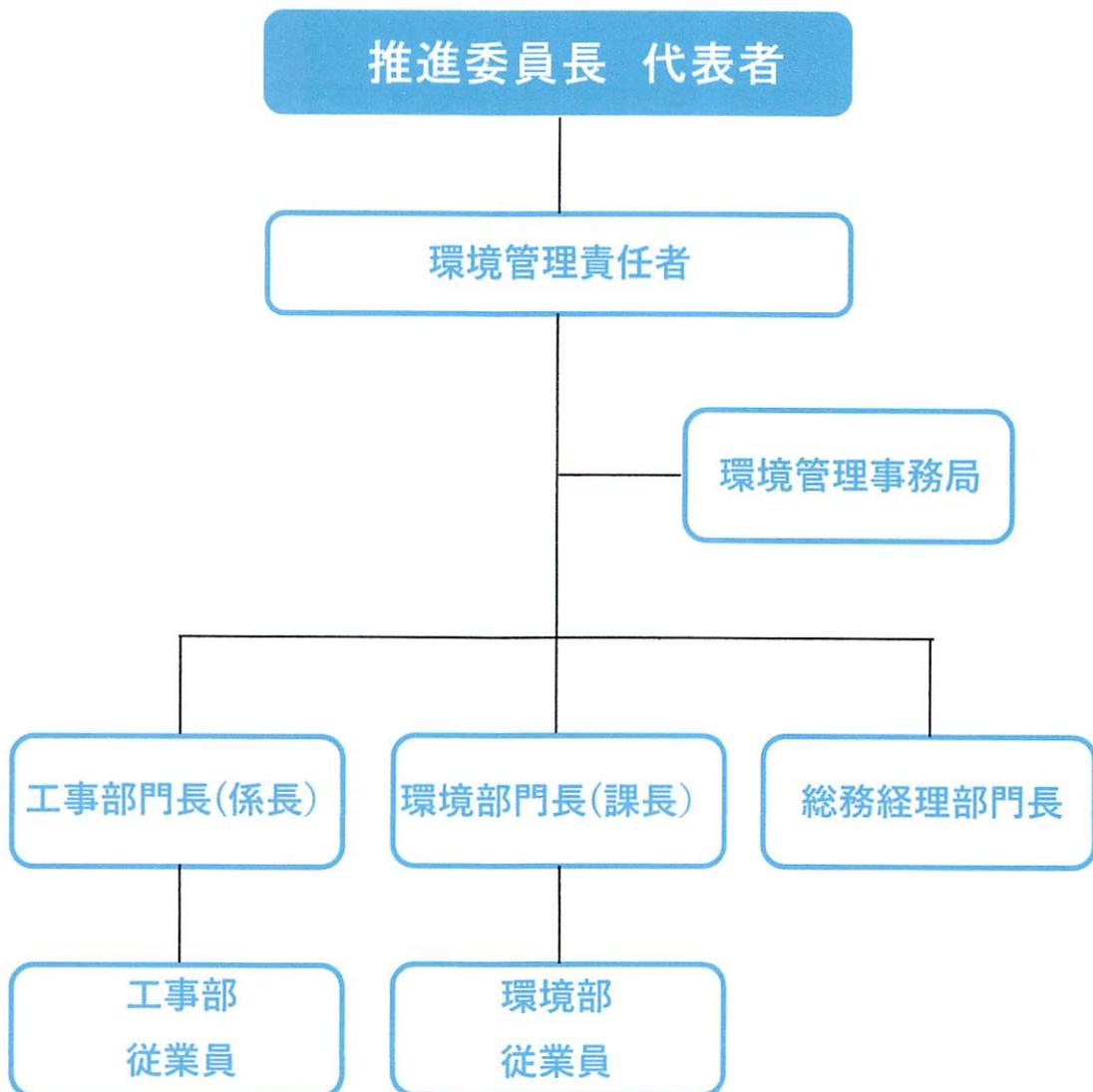
一般廃棄物収集運搬量 6860, 2t

建設業受注件数 1件/年

2. 実施体制

- (1) 登録組織名 株式会社 大東建興
対象事業所 本社
対象事業所 株式会社 大東建興国分寺支店

(2) 組織体制図



(3) 職名・役割と責任

職名	役割
推進委員長	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境経営に関する最高責任者であり、経営の課題とチャンス を明確にする。 ② 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 ③ 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な人材・設備・資 金・技術技能を準備する。 ④ 環境経営に関する方針・目標を定める。 ⑤ 環境経営システムの有効性を評価し、システム全体の見直しを 行い、必要とする場合は改訂を指示する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境経営システムの構築・実施・維持管理する。 ② 環境活動の運営状況・取組結果を代表者に報告する。 ③ 環境経営に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、 目標を達成する為に、委員会組織を運営する。
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境管理責任者を補佐する。 ② 環境活動の文書・記録類の管理及び実績集計表を作成する。
部門長	<p>各部門内における</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの実施及び達成状況の報告 ・ 環境方針の運用及び管理 ・ 緊急事態への対応マニュアルの作成及び教育・訓練の実施 ・ 問題点の発見及び対処方法の教育・訓練の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境経営システムの実施への取り組みに対する重要性を自覚し 遵守する。 ② 環境活動への積極的に参加する。

3. 環境経営方針

(1) 基本理念

株式会社大東建興は、「地球の環境保全と限りある資源の大切さを理解し、循環型社会に貢献しましょう。」を経営理念にしており、当社の主要な業務である廃棄物収集運搬業・建設業は、循環型社会形成における重要な役割の一員であることを認識し、環境問題へ積極的に取り組む事を使命と考えております。

また、建設業に於いても建設廃棄物の低減、再使用化・再生資源の利用を積極的にい事業活動を通じて、今後もより一層の環境保全活動に努めて参ります。

(2) 行動指針

当社は、あらゆる事業活動において環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、下記の行動指針に基づき積極的に環境保全活動に取り組めます。

- ① 環境関連法令、条例等を遵守すると共に、地域・業界・顧客の環境関連事項に配慮し、継続的な環境活動の改善を図ります。
- ② 省エネルギー空調機器・LED照明機器の推進に努めます。
- ③ 廃棄物の分別及び排出削減を徹底し、リサイクルの促進に努めます。
- ④ 環境負荷の少ない車両の導入及びエコドライブの推進を図り、二酸化炭素排出量・燃料の削減に努めます。
- ⑤ 節水に対する教育を行い水使用量の削減に努めます。
- ⑥ 環境教育・訓練及び日頃の近隣道路清掃活動を通じて、環境意識を高め全従業員で環境活動に取り組み地域社会との協調を図ります。

改定日 令和 2年 4月 1日

株式会社 大東建興

代表取締役 堀 敏明

4. 環境経営目標

改定 令和6年10月

環境経営実績項目	単位	基準年	目標（基準年比）	目標（基準年比）	目標（基準年比）	目標（基準年比）
		令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		R3.10~R4.9	R5.10~R6.9	R6.10~R7.9	R7.10~R8.9	R8.10~R9.9
二酸化炭素排出量の削減	kg	124566.3	99.5%	99.0%	98.8%	98.6%
電力使用量の削減	kwh	17121.0	99.5%	99.0%	98.8%	98.6%
燃料使用量の削減（ガソリン）	ℓ	3015.0	99.5%	99.0%	98.8%	98.6%
燃料使用量の削減（軽油）	ℓ	37588.0	99.5%	99.0%	98.8%	98.6%
燃料使用量の削減（天然ガスLNG）	Nm ³	4517.1	維持	使用廃止	—	—
ガス使用量の削減	m ³	使用廃止	—	—	—	—
廃棄物排出量の削減（本社）						
一般廃棄物排出量の削減	袋	168	165	163	159	155
一般廃棄物の再使用・再生使用の増	kg	データ不可	—	—	—	—
産業廃棄物処分量の削減	m ³	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0
水資源使用量の削減						
水使用量の削減						
本業における環境配慮	m ³	564.0	99.5%	99.0%	98.8%	98.6%
燃費基準達成収集運搬車の増						
低公害車(NOx・PM)導入比率の増						
低騒音重機使用比率の増	台	19/20	19/20	20/20	20/20	20/20
低公害車(NOx・PM)導入比率の増	%	100	維持	維持	維持	維持
低騒音重機使用比率の増	%	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

5. 環境経営目標の取組み結果

改定 令和5年10月

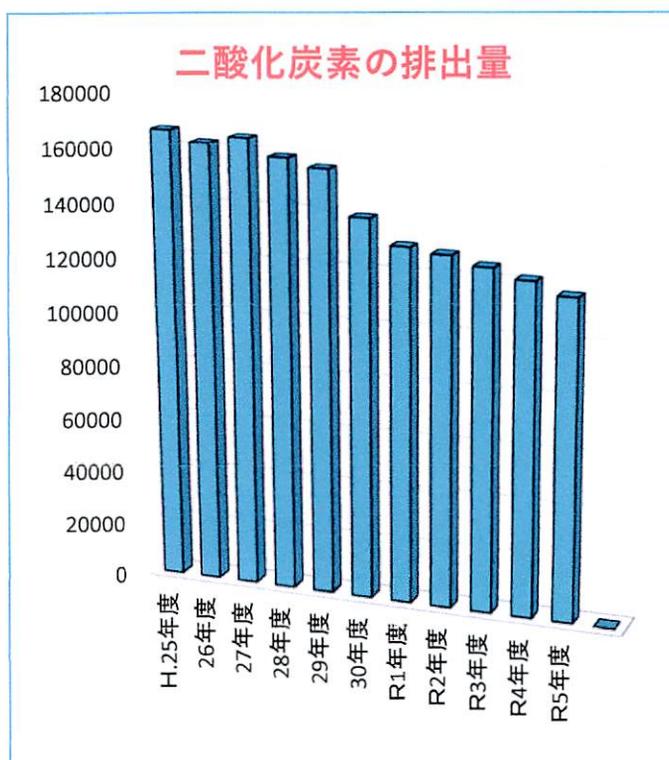
環境経営実績項目	単位	基準年	削減目標	目標値	実績	差引	評価
		令和4年度 R.4.10~5.4.9					
二酸化炭素排出量の削減	kg	124566.3	99.5 %	123943.5	116980.6	-6962.9	◎
電力使用量の削減	kwh	17121.0	99.5 %	17035.4	18378.0	1342.6	△
燃料使用量の削減 (ガソリン)	ℓ	3236.3	99.5 %	3220.1	2226.0	-994.1	◎
燃料使用量の削減 (軽油)	ℓ	38877.4	99.5 %	38683.0	40198.0	1515.0	○
燃料使用量の削減 (天然ガスLNG)	Nm ³	1997.0	使用廃止	—	使用廃止	—	◎
ガス使用量の削減	m ³	使用廃止	—	—	—	—	—
廃棄物排出量の削減 (本社)							
一般廃棄物排出量の削減	袋	165	-1 袋	164	155	-9.0	◎
一般廃棄物の再使用・再生使用の増	kg	データなし	—	—	—	—	—
水資源使用量の削減							
水使用量の削減	m ³	542.0	99.0 %	536.6	616.0	79.4	△
本業における環境配慮							
燃費基準達成収集運搬車の増	台	19/20	20/20	20/20	20/20		◎
低公害車(NOx・PM)導入比率の増	%	100	維持	維持	維持		◎
低騒音重機使用比率の増	%	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし		—
産業廃棄物処分量の削減	m ³	0.0	—	3.0	0.0	-3.0	◎

「◎」目標達成 「○」ほぼ達成 「△」要注意 「×」未達成 「—」無

環境への負荷の実績表

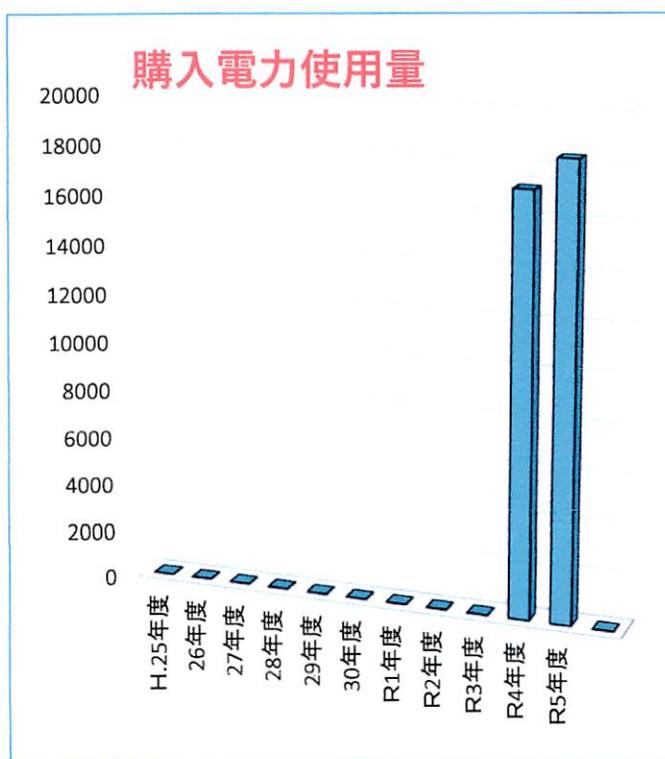
二酸化炭素の排出量

年度	集計年月	排出量(kg-CO ₂)
H.25年度	2014	166231
26年度	2015 .10	162093
27年度	2016 .10	164720
28年度	2017 .10	158532
29年度	2018 .10	155496
30年度	2019 .10	139064
R 1年度	2020 .10	129996
R 2年度	2021 .10	128310
R 3年度	2022 .10	125067
R 4年度	2023 .10	121522
R 5年度	2024 .10	116981



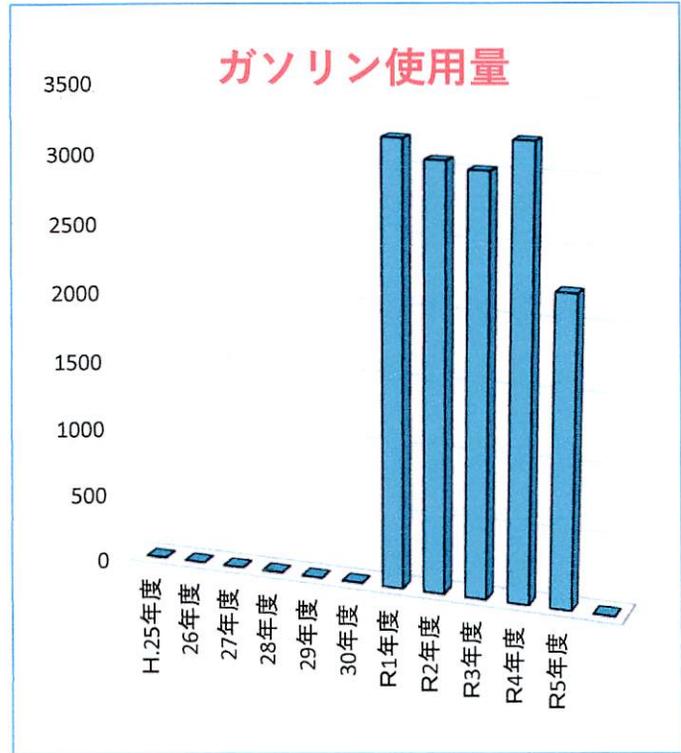
購入電力使用量

年度	集計年月	排出量(kwh)
H.25年度	—	—
26年度	—	—
27年度	—	—
28年度	—	—
29年度	—	—
30年度	—	—
R 1年度	—	—
R 2年度	—	—
R 3年度	—	—
R 4年度	2023 .10	17121
R 5年度	2024 .10	18378



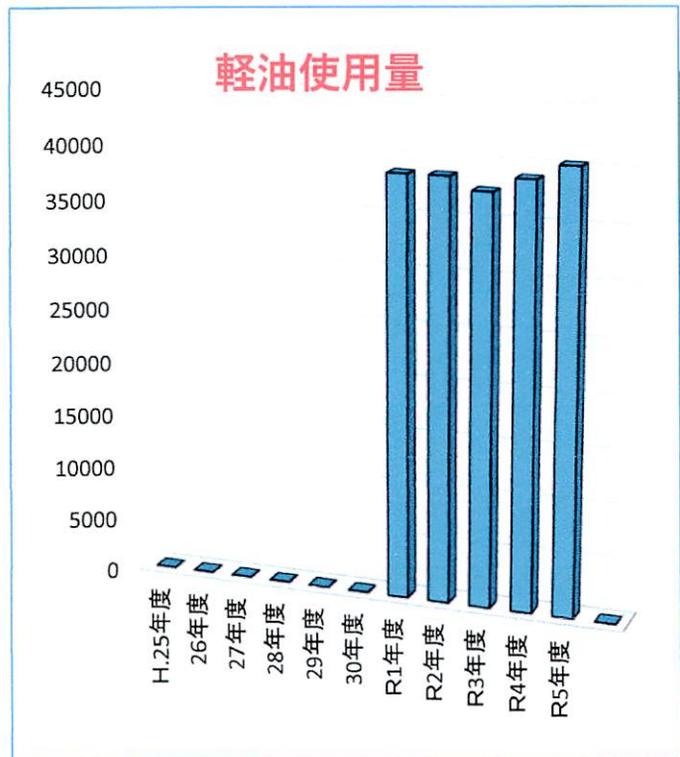
ガソリン使用量

年度	集計年月	使用量(ℓ)
H.25年度	2014 年	
26年度	2015 年	
27年度	2016 年	
28年度	2017 年	
29年度	2018 年	
30年度	2019 年	
R 1年度	2020 .10	3205
R 2年度	2021 .10	3067
R 3年度	2022 .10	3015
R 4年度	2023 .10	3236
R 5年度	2024 .10	2227



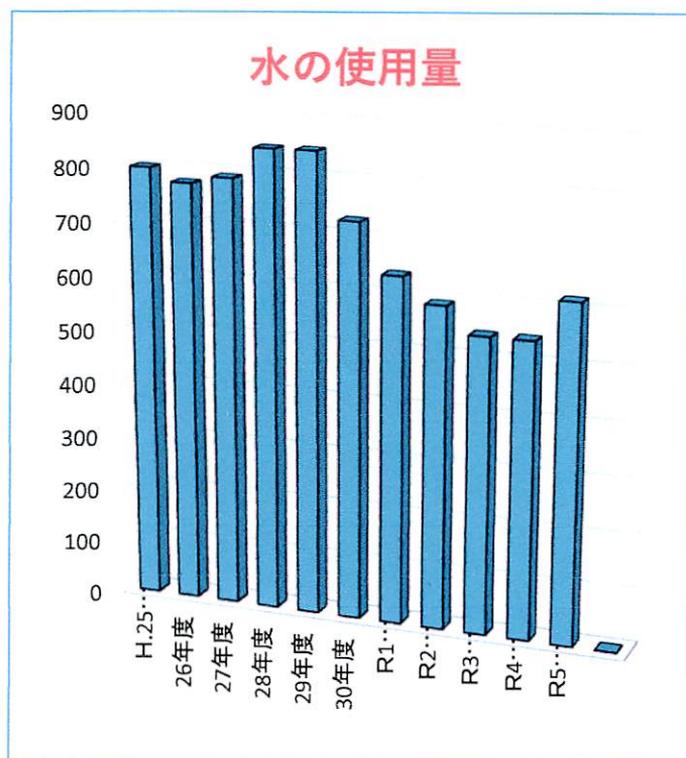
軽油使用量

年度	集計年月	使用量(ℓ)
H.25年度	2014 年	
26年度	2015 年	
27年度	2016 年	
28年度	2017 年	
29年度	2018 年	
30年度	2019 年	
R 1年度	2020 .10	38680
R 2年度	2021 .10	38714
R 3年度	2022 .10	37588
R 4年度	2023 .10	38877
R 5年度	2024 .10	40198



水の使用量

年度	集計年月	使用量(ℓ)
H.25年度	2014 年	798
26年度	2015 年	774
27年度	2016 年	788
28年度	2017 年	845
29年度	2018 年	846
30年度	2019 年	726
R 1年度	2020 .10	635
R 2年度	2021 .10	590
R 3年度	2022 .10	542
R 4年度	2023 .10	542
R 5年度	2024 .10	616



6. 環境経営計画

(1) 当社一般廃棄物収集運搬車両からの二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減

活動計画	実施結果	次年度の計画
アイドリングストップ徹底の実施	◎	継続する
空ふかしを行わない	◎	継続する
急発進、急加速を行わない	◎	継続する
法定速度の厳守、一定速度運転	◎	継続する
車両出庫時の日常点検実施	◎	継続する

(2) 電力の使用節減による二酸化炭素排出量（排出ガス）の削減

活動計画	実施結果	次年度の計画
事務所、休憩室での休憩時間の消灯	◎	継続する
事務所の照明は必要とされる照明以外は消灯する	◎	継続する
未使用時の設備電源OFF	◎	継続する
冷暖房温度の設定（クールビズ・ウォームビズの推進）	◎	継続する
省エネ機器への切り替え導入	◎	継続する
排風ファン等の使用を控える	◎	継続する

(3) 水資源の適正使用への管理

活動計画	実施結果	次年度の計画
車両洗車時、大きなごみを掃き出し、洗車時の水使用を抑制する	◎	継続する
給湯使用時にこまめにお湯を止めてムダをなくす	◎	継続する
節水型トイレタンクによる使用量の削減	◎	継続する
小便器の使用率を進めて節水	◎	継続する

(4) 廃棄物の排出削減

活動計画	実施結果	次年度の計画
紙ベースを媒体かする	◎	継続する
紙類の使用量の削減	◎	継続する
再生紙の使用推進	◎	継続する
用紙の両面活用	◎	継続する
廃棄物の分別によるリサイクル品の回収	◎	継続する
プラスチック容器製品の購入を控える	◎	継続する

(5) 本業における環境配慮

活動計画	実施結果	次年度の計画
燃費基準達成車（収集運搬車両）の増	◎	継続する
低公害車(NOx・PM)導入比率の増	◎	継続する
低騒音重機使用比率の増	—	対象外
教育訓練の実施	◎	継続する
啓発活動の実施	◎	継続する
地域貢献活動の実施（近隣道路の清掃活動）	○	継続する
自治体などが行うイベントへの参加	◎	継続する

(6) 省資源化の推進

活動計画	実施結果	次年度の計画
Eメールの活用によるファックス [®] ・パ [®] ーレスを推進する	◎	継続する
使用済コピー用紙の裏面使用	◎	継続する

(7) SDGsの取り組み

活動計画	実施結果	次年度の計画
17分野の取り組み	○	継続する

「◎」目標達成 「○」ほぼ達成 「△」要注意 「×」未達成 「—」無し

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の

(1) 適用となる主な環境関連法規等

- ① 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ② 建設リサイクル法
- ③ 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）
- ④ 資源の有効な利用の促進に関する法律
- ⑤ フロン排出抑制法
- ⑥ 自動車NOX・PM法
- ⑦ 自動車リサイクル法

(2) 違反、訴訟等の有無

当社では環境関連法規等を遵守しており違反はありませんでした。
また、過去においても関係機関等からの指摘等は無く、訴訟等も1件もありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 代表者による全体の評価

「環境への負荷」の実績について、全体の二酸化炭素排出量・ガソリン使用量は目標値に達したが電力使用量については昨年度から増加傾向となり要因としては令和4年8月にエアコンを省エネタイプ入れ替えたが、以前のエアコンより能力が大きいため、電力消費量が増加したと思われる。また、夏の猛暑日が続いたことにより使用時間も増加し電力使用量が目標に達しなかったのではないかと考えます。なお、軽油の使用量が若干増えているのはCNG燃料車両廃車によりディーゼルエンジン車へと移行した分、増えたと考えます。

(2) 代表者による全体の見直し

二酸化炭素ガス発生量・ガソリン使用量の削減については環境目標値をクリアしているが電力使用量・水の使用量は目標値に達していない。

今後、目標値に達する方法を今一度、精査し達するするために何が不足で何が必要かを社員の皆で考えて実行に移してもらいたい。

「基準年の改定」を令和4年度とする。改定の必要性として電力使用量（エアコンの入替え）、CNG燃料車両廃車による燃料の変更が主な理由として基準年を改定する。

(3) 代表者による全体の指示

- ① 2015年9月、国際サミットで決められた国際社会の共通目標のSDGS（持続可能な開発目標）への積極的な取組を継続的に行うことを指示します。



SDGsの17の目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任、つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう

前年度同様に、17分野のうち7の環境に関する目標達成を目指します。

目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」のターゲット

(7-2) 2030年までに、エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーを使う方法の割合を大きく増やす。

「取組み」平成30年度にLED照明への切り替えや太陽光発電システムの導入を行いました。

(7-3)2030年までに、今までの倍の速さで、エネルギー効率をよくしていく。

「取組み」令和4年度にエネルギー消費率が大きいとされるエアコン（3機）を省エネタイプ（うち2機は吸排気型）に取替えました。

「取組み」社用乗用車の買い替えに低燃費・低公害のハイブリッド車を購入しました。

② 小型二次電池のリサイクル（資源有効利用促進法）

小型二次電池については、資源有効利用促進法（資源の有効な利用の促進に関する法律）により小型二次電池製造業者や小型充電式電池を使用する機器業者、それらの輸入業者などに回収、再資源化が義務付けられています。

モバイルバッテリーなど、使用済みの小型二次電池（リチウムイオン電池など）や小型二次電池使用製品を処分する時は、自治体のごみマニュアルやメーカー等のホームページを参考にして適正に排出する事を指示します。

 Ni-Cd	 Ni-MH	 Li-ion	 Pb
ニカド	ニッケル水素	リチウムイオン	小形密閉形鉛蓄電池

9. 地域の環境活動

「地域社会貢献の推進」の取組

(1) 市の取組への活動参加項目

- ・ごみゼロフェスティバル
- ・環境フェスティバル
- ・市民まつり
- ・リサイクルキャラバン
- ・きれいなまち専門部会巣箱設置
- ・環境美化週間
- ・産業まつり
- ・防災訓練
- ・小学校訪問による小学生への「ゴミに関する勉強会」の開催

(2) 地域の環境活動

地域の環境活動の一環として、事業所周辺道路の清掃活動を毎週水曜日（基本）に行っております。

(3) 地域住民とのコミュニケーション

自治体主催で毎年開催（感染症拡大防止対策等の期間を除く）の防災訓練・産業まつり・市民まつり等に建設業協会員・清掃事業協同組合員として毎回参加し、地域住民とのコミュニケーションを深めております。